

に
じ

Vol.15

2010年12月発行号
ご自由にお持ち下さい

地域医療の
かけはし
となることを願つて

Contents

- P2 診療科紹介
 - 小児外科………P2
 - 麻酔科…………P3
- P4 コメディカル紹介リレー
- P5 腎センターのご紹介
- P6 無料・低額診療事業のご案内
- P7 新任 Dr. 紹介 / 研修医日記
- P8 診療日程案内



社会福祉法人
恩賜財団 済生会川内病院

小児外科

小児外科の紹介



池江 隆正 (いけえ たかまさ)

済生会川内病院 小児外科部長
小児外科専門医・外科専門医

はじめに

私が平成18年4月に当院に赴任してから4年が過ぎました。その間の主な手術症例を挙げますと、表のようになります。全体としては年間50から60例程度で、中でも特に多いのが、そけいヘルニア(いわゆる脱腸)の手術です。そのほかに、臍ヘルニア(でべそ)の症例も少しづつ増えてきています。小児外科では消化器、呼吸器、腹壁などを対象にすることが多く、骨や筋肉、心臓などといった臓器は専門ではありません。

週間スケジュール

金曜日の小児外科の手術以外の仕事としては、外来を火曜日の午前中、木曜日の午後、第2・4の土曜日の午前中に行っています。火曜日と木曜日には消化管の造影検査などを行うことがあります。月曜日の終日と木曜日の午前中は成人外科の手術のお手伝いをしております。腹腔鏡手術など小児外科では少ない手術も助手として経験させていただき、とても勉強になつております。また小児科で虫垂炎を疑われた子の超音波検査や、便秘の子の診察などをを行う一方で、手術前のお子さんの全身状態を見ていただくことも多く、小児科の先生方とは密に連絡を取りながら診療をしております。

困ること

以上のように何かとやることはあります

のですが、現在当科は一人でやつておりますので、検査しながら外来診療ができるなかつたり、手術中に病棟の診察ができなかつたりします。実は表にあげた症例で、中でも特に多いのが、そけいヘルニ

ア(いわゆる脱腸)の手術です。そのほかに胆道閉鎖症、胆道拡張症、ヒルシユスブルンギ病、腸回転異常症などのお子さんも来院されました。しかし、これらは一人で最初から最後まで見るのは大変で、外来の患者さんを長く待たせてしまつたり、小児外科の手術枠をはみ出してしまうために、他科の手術が遅くなったり、急変時に駆けつけられなかつたりする可能性があるために、あえて当院では手術せずに、大学病院にお願いするようにしています。また大学病院の方でも気軽にこちらの紹介を引き受けてくれる体制になつておらず、場合によつてはこちから紹介したお子さんの大学での手術に、私が入ることもあります。

今後の目標

まずは安全第一。幸いなことに、これまでこれといってトラブルはありませんでしたが、子供たちが安心して当院での治療を受けられるようにさらに細部にまで気を配っていくことが必要だと思っています。

第二に外科、小児科との連携をより充実させていくこと。当院内にとどまらず日頃からお世話になつております開業医の先生方とも、より連携を密にしていきたいと思います。

第三にやはり大学との連携も維持していくかねなりません。むずかしい症例

を一人で抱え込み、状態を悪化させることが無いように、常に留意しております。大学へ紹介する際は、その後の治療が迅速に受けられるように、当院でできる検査等はなるべく当院で済ませることなどが必要と思われます。地域医療の充実といつても、地域ですべて大学病院レベルのことができないといけないわけではなく、地域できなければスマートに中核病院へ紹介するというシステムの構築が必要であると思われます。

○ 小児外科手術症例

	21年度	20年度	19年度	18年度
鼠径ヘルニア	47	40	44	54
虫垂炎(腹腔鏡下)	2	5	2	7
停留精巣	3	4	4	1
臍ヘルニア	6	2	2	1
肥厚性幽門狭窄	2	2	1	2
経口摂取困難(胃ろう)	3			

麻酔科

カクテル～全身麻酔と麻酔科医のおはなし

川村 和徳 (かわむら かずのり)

済生会川内病院 麻酔科部長
日本麻酔科学会専門医・指導医



「麻酔」を受けられたご経験はありますか？歯の治療の注射を思いだされた方。その注射、立派な「麻酔」です。ところで私のような麻酔科医が行う「麻酔」は少々大がかりなものとなります。今日は「全身麻酔」について、少しお話します。

「全身麻酔」 痛みがなく、眠っているうちに手術を受けられる

ケガをされたことがありますか？一度ぐらいはありますよね。どうでした？「痛かった」「怖かった」「痛くてじつといられないなかつた」「ドキドキ、脈が速くなつた」・・・すみません。いやな事を思い出させてしました。許してください。

お尋ねいたしますと、「眠っていて、ぜんぜん痛くなかった」といわれます。なにかが大きな手術を受けられた方には手術だって同じように痛いはずです。手術を行なつた・・・すみません。いやな事を思い出させてしました。許してください。

「全身麻酔」は、「痛みを感じなくし」「怖くないよう眠たくし」「じつとできるようにし」「脈や血圧を安定させる」4つの事を行います。専門用語でいえば、「鎮痛」「鎮静」「筋弛緩」「有害な神経反射の防止」の4つです。そのため「鎮痛剤」「鎮静剤」「筋弛緩剤」「脈や血圧を調節する薬」を組み合わせて使います。お酒でいえば、「カクテル」です。十種類以上のお薬を使用することもあります。

「麻酔科医」の役割

手術中の色々な変化を直ちに治療する

全身麻酔	吸入麻酔	ガス(揮発性)麻酔薬を使用
	静脈麻酔	点滴から麻酔に必要な薬物を投与
	脊麻(脊髄くも膜下麻酔)	下半身の手術に腰から注射
	硬麻(硬膜外麻酔)	体幹部や上下肢の手術で背中や腰に注射
	伝達麻酔(腕神経叢ブロック)	上肢の手術で腋下や頸部に注射
局所麻酔	浸潤麻酔	歯科治療や比較的小さいケガの処置など
	表面麻酔	眼科の点眼麻酔、胃カメラの時の麻酔
	静脈内局所麻酔	中枢を圧迫し、点滴から局所麻酔薬を投与。上下肢の手術で(実施は稀)

※実際には、上記を組み合わせて行う。

構成要素	意味	使用する薬物
鎮痛	痛みをとる	鎮痛剤
鎮静	眠れるようにする	鎮静剤
筋弛緩	動いたり、力が入るのを防止する	筋弛緩剤
有害な神経反射の防止	血圧や脈拍の変動をコントロールする	昇圧剤・降圧剤・循環作動薬

麻酔の進歩と抱負 日々進歩、日々精進

「麻酔科医」は、外科系全科・老若男女の手術麻酔を依頼されます。手術を受けられる方の年齢も高く、高血圧、気管支喘息、糖尿病、肥満などさまざまな合併症を持たれる方も多いくなっておられます。一方「麻酔学」の方も確実に進歩し続けており、26年前、私が麻酔科医になりました頃と比べましても、安全に手術を受けられるようになりました。麻酔科医の私も最新の知識・技能で麻酔管理を行い、みなさまに安全に手術を受けていたとき、術後を快適に過ごしていただけます。

人の身体は上手くできたもので、呼吸や血圧・脈の調節を無意識に行っています。でも手術で「全身麻酔」を受けられる時、自分では呼吸することができなくなります。なぜ？ 無意識に動いたりされると、手術を安全に続けることができなくなります。そこで「麻酔科医」は人工呼吸器を使って、適切な呼吸が続けられるようになります。大出血などで血圧が低下すると、「麻酔科医」は直ちに血圧を上げる治療を行います。手術中「麻酔科医」はみなさまに付き添い、血圧や心電図、筋弛緩の程度、さらには脳波をモニターしながら、手術の進行にそつた安全で最適な「全身麻酔」を組み立て行きます。「バーテンダーミ」みたいなものかもしれません。

「麻酔科医」は、外科系全科・老若男女の手術麻酔を依頼されます。手術を受けられる方の年齢も高く、高血圧、気管支喘息、糖尿病、肥満などさまざまな合併症を持たれる方も多いになっておられます。一方「麻酔学」の方も確実に進歩し続けており、26年前、私が麻酔科医になりました頃と比べましても、安全に手術を受けられるようになりました。麻酔科医の私も最新の知識・技能で麻酔管理を行い、みなさまに安全に手術を受けていたとき、術後を快適に過ごしていただけます。

美しい画像なら
まかせて！

放射線部

つめディイカル 紹介リレー

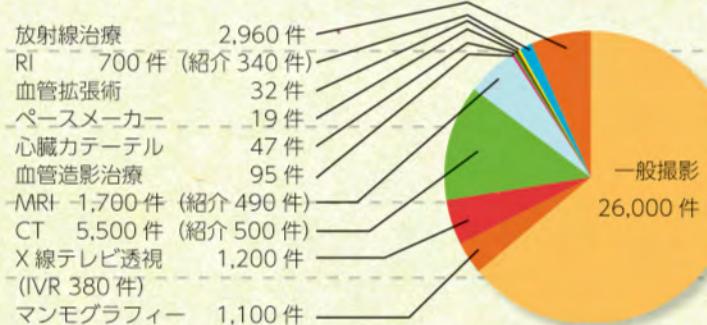
放射線部技師長

兒玉 康照 (こだま やすてる)

私たち放射線部では、現在10名の診療放射線技師が働いております。その内2名は放射線治療に専任しており、昨年9月からは健診部門の腹部超音波検査も担当業務に加えられ、チーム医療としての一端を担ってきております。私たちの仕事は、正確な画像を診療に提供すること！どのような撮影を行っているか紹介してみたいと思います。

●検査件数

昨年一年間の放射線部で行われた検査件数です。



このように胸部一般撮影を始め、CT、MRI、透視、血管造影など多岐に渡って撮影しております。

●PACSの効果

PACSとはモニターでCTやMRIなど全ての画像を同時に見る事ができるシステムのこと、当院では昨年8月より導入しました。これによりフィルム管理(保管や運搬)が不要となり、みなさんをお待たせすることも少なくなったのではないかでしょうか？

●他院からの紹介検査

院内の検査オーダーのほかに他院からの紹介件数も増加傾向にあり、MRIで全件数の3割弱(特に整形関係) RIで5割弱(骨シンチ、心筋シンチ)となっています。

紹介先へはCTを含めフィルム、CD-Rで正確な美しい画像を提供できる様心がけております。

●最近の透視状況

これまで健診部門の胃透視については年間2500件程施行していましたが、平成21年4月より胃カメラ検査に移行し大幅に減少しました。最近では、胃・大腸の術前、化学療法前後の精密透視が主流になってきており、ステント挿入などのIVRも増えてきています。

(IVRとはX線透視などを利用した治療のことです)

●最後に

私たち放射線技師は患者さんがいつでも気持ち良く検査・治療を受けて頂ける様心がけております。何かわからない事等ありましたら、お気軽に何でもお尋ね下さる様お願い致します。



腎センターのご紹介

腎センター師長

井上 安寿子
いのうえ やすこ

私達は「患者様に透析療法を安心・安全に受けられるような環境を提供する」「患者様の気持ちに沿った透析療法を行う」を念頭に、スタッフ一同、毎日笑顔で患者様に接し、透析のプロとして努力、邁進していきたいと思います。

透析室は昭和56年に8床で始まりました。その後、患者数の増加に伴い、数回にわたって増床し、現在35床となり最大105名の透析を行っています。

人工透析とは、血液ポンプを用いて血液を体の外に引き出し、ダイアライザ(透析器)で老廃物・水分・塩分・カリウムなどを取り除いた後に再び体に戻す治療法です。

腎不全の患者様は、通常週3回、4~5時間の人工透析を受けますが、長時間をする治療となるので、少しでも快適に治療が受けられるよう、テレビを見る、温度調節をするなどして、環境を整えています。

また、当院の透析導入患者様の原疾患は、全国統計が示すように、糖尿病性腎不全が半数以上を占めています。特徴としては、地域の病院から消化管出血・骨折・手術・検査目的で転入される患者様が多いことが挙げられます。

Dialysis room 透析室

◆透析台数

35台

◆透析日

月・水・金(2シフト)：午前8時30分～ 午後3時30分～
火・木・土(1シフト)：午前8時30分～

◆スタッフ

常勤医………3名
非常勤医………1名
看護師………19名(2名は臨床工学技師免許あり)
臨床工学技師……3名

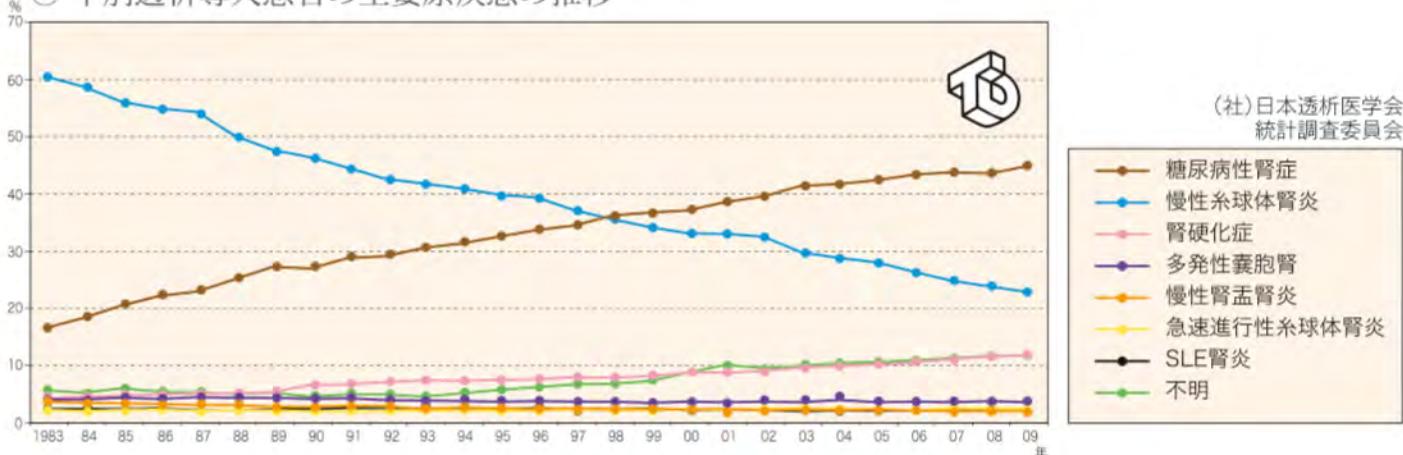
◆透析内容

血液透析(HD)
血液濾過透析(HDF)
在宅腹膜透析(CAPD)
その他の急性血液浄化法(血漿交換など)



Use state 各科利用状況

○年別透析導入患者の主要原疾患の推移



無料・低額診療事業のご案内

無料・低額診療事業とは

明治44年2月、明治天皇は桂総理大臣に「医療を受けることが出来ずに困っている人達に施薬救療し、済生の道を弘めるように」という「済生勅語」に添え、150万円を下賜されました。この基金をもとに済生会は発足しました。

済生会の出発点である「施薬救療」精神は今も引き継がれ、当院は、社会福祉法の規程により、生計困難な方が経済的な理由によって必要な医療（治療）を受ける機会が制限されることのないよう、診療費の自己負担を軽くする無料・低額診療事業を実施しています。

対象となる人

- ・低所得者等で、経済的理由により診療費の支払いが困難な方
- ・要保護者や行旅病人・浮浪者など生計困難者
- ・家庭内暴力被害者、失業・多重債務者等で診療費の支払いが困難な方

対象となる医療費

- ・当院での診療費
- ・院外処方箋による調剤薬局の支払いや個室利用を希望された場合の室料差額料等の自費分は対象となりません。

利用方法

- ・まずは、健康福祉課へ相談にお越しください。
- 利用にあたっては、収入などの一定の条件がありますので、収入の分かる書類（源泉徴収票や給与明細、年金振込書など）を提出して頂く事になります。

※事情をお聞きし、無料・低額診療事業に該当する場合には、診療費の自己負担を軽くします。

どの程度負担を軽くするかは、収入や必要な診療費などによって変わります。

無料・低額診療事業は、生活が改善するまでの一定期間に利用して頂くものです。他の公的な制度が利用できる場合は、そちらの手続きをお勧めすることもあります。

健康福祉課 石原 肇





新任Dr.紹介

新しく当院の医師となった
3名をご紹介いたします。



役職名

氏名

1. 出身地
2. 前赴任地
3. 趣味・特技

4. 一言コメント



産婦人科

河村 幸枝

かわむら ゆきえ

1. 薩摩川内市
2. 鹿児島医療センター
3. 音楽鑑賞

4. 今回2回目の赴任となります。
宜しくお願い致します。



放射線科

袴田 裕人

はかまだ ひろと

1. 鹿児島市
2. 鹿児島医師会病院
3. 読書

4. 2年ぶりの済生会勤務となりました。
これまで同様、どうかよろしくお願ひいたします。



放射線科

永里 耕平

ながさと こうへい

1. 薩摩川内市
2. 鹿児島大学病院
3. AKB48「会いたかった～♪」

4. 出身地での仕事、楽しみにして参りました。
一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します！

研修医日記

Kazuhiko' Diary

記録的猛暑といわれた今年も早くも12月となり、寒さが身にしみる季節となりました。

私の済生会川内病院での臨床研修も9ヶ月目を迎え、これまで多岐にわたる診療科にて研修させていただきました。済生会川内病院は北薩地域の中核医療機関であり、昨年研修していた大学病院ではなかなか経験できなかったcommon diseaseを診させていただく機会も多く、去年の自分より多少なりとも成長できているのではないかと思っております。

各科研修2ヶ月という短期間である難しい状況の中、指導医やスタッフ他、様々な方々のご高配に支えられ今日に至ることを大変感謝しております。

今後も、微力ではありますが、地域医療の一助を担えるよう頑張ります。

年末に向けご多忙とは存じますが、皆様お体に気をつけてお過ごしください。来年も今年と変わらない温かいご指導を賜りますようお願いいたします。

井上 和彦



診察日程案内

平成22年12月現在

	月	火	水	木	金	土					
	午前	午後	午前	午後	午前	午後					
内科	糖尿病		斎藤 紀佳		徳田 竜人		馬場 泰忠		久保田 敬子		
	消化器	藤田 俊浩			青崎 真一郎		那須 雄一郎				
	肝臓	重信 秀峰 馬渡 誠一		大重 彰彦		穂脇 卓也 玉井 努		重信 秀峰		重信 秀峰	
	循環器	福岡 嘉弘 網屋 俊			網屋 俊		福岡 嘉弘		網屋 俊		
	ベースメーカー外来 (第4金曜のみ)								福岡 嘉弘 (予約制)		
	腎臓	濱田 富志夫					濱田 富志夫 (紹介のみ)		西田 知夏		
	呼吸器						副島 賢忠				
	一般内科	阿部 正治 大重 彰彦	田中 啓仁 西田 知夏		阿部 正治 小野 陽平		網屋 俊 田中 啓仁		小野 陽平 大重 彰彦		
外科	手術日	川井田 浩一	手術	柳 政行	手術・検査	手術日	川井田 浩一	検査			
小児外科	(一般外科手術)	池江 隆正	(一般外科手術)	(一般外科手術)	(一般外科手術)	池江 隆正	手術日	池江 隆正 (第2,4土曜のみ)			
整形外科	村角 恭一 永田 政仁	病棟回診	手術日	村角 恭一 永田 政仁	検査	手術日	村角 恭一 永田 政仁	手術・検査	術後回診		
小児科	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付11-12時、 14-15時	田中 主美 川浪 佳与子	予防接種 受付11-12時、 14-15時 専門外来 受付13-14時	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付11-12時、 14-15時 専門外来	吉川 英樹 川浪 佳与子 (再診のみ)	第1・3木曜日 専門外来 受付14-15時	田中 主美 吉川 英樹	検査(心エコー等) 予防接種 受付14-15時	田中 主美 吉川 英樹
泌尿器科	堂満 洋司 (紹介のみ)	手術	慶田 喜文		堂満 洋司		慶田 喜文		堂満 洋司	手術	手術
産婦人科	比良 高明 野口 憲一	病棟回診	比良 高明 野口 憲一	1ヶ月健診 予約検査	野口 憲一 河村 幸枝	手術	野口 憲一 河村 幸枝	予約検査	比良 高明 河村 幸枝	手術	比良 高明 河村 幸枝
眼科	非常勤医師		非常勤医師		木村 勝哲		木村 勝哲		木村 勝哲		
皮膚科	内田 洋平	手術	内田 洋平	予約診察 (再診)	内田 洋平	病棟	内田 洋平	手術	手術	予約診察 病棟回診	
放射線科	袴田 裕人	血管造影	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	永里 耕平	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	小野原 又は袴田 又は永里
麻酔科	手術麻酔		手術麻酔		手術麻酔		手術麻酔		手術麻酔	術前診察日	
緩和ケア外来			15-17時 (要予約) 柳 政行 (身体症状緩和・毎週) 中原 敏博 (精神症状緩和・隔週)								

- 担当医師は学会出張などにより不在・変更が生じることがあります。
- がんに関する相談をがん相談支援センターで行っております。(9時~16時)

理念

私達は、保健・医療・福祉を通じて地域社会に貢献します。

基本方針

- 患者様の尊厳と権利を常に尊重します。
- 医療情報の開示と懇切な説明による開かれた医療を実践します。
- 私達は常に研鑽し、患者様本意の、良質で安全な医療を目指します。
- 公的中核病院として、地域の先生方と協力し、救急医療と高度の専門医療の推進に努めます。
- 職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実に努め、働きがいのある職場を作ります。

患者様の権利と責務について

権利について

- 誰でも、個人の人格や価値観を尊重され、良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 病状や治療について十分説明を受けた上で、検査や治療方法など、自分の意志で決める権利があります。
- 診療の過程で得られた個人の情報等(プライバシー)は守られる権利があります。

責務について

- 自分自身の健康に関する情報を、出来るだけ正確に医師や看護師に伝えて下さい。
- 医療に関する説明を受けても十分理解できない場合は、わかるまで質問して下さい。
- 病院の規則を守り、他の患者様の迷惑にならないようご配慮下さい。



社会福祉法人 恩賜 財団 済生会川内病院
〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号
TEL (0996)23-5221 FAX (0996)23-9797
<http://www14.synapse.ne.jp/saiseikaisen/>